

『フライ、ダディ、フライ』

金城 一紀 / 角川文庫(2009)



とても読みやすく、本をあまり読まない人にも、よく読む人にもぜひ読んでもらいたい一冊です。

こんなこと、実際には起こりえません。でも、娘のためにここまでやる父親がいたっていいじゃないですか。

父よ、飛べ、娘のもとに。

本館：1Fフロア /913.6/Ka54f/2009

*夏休み後は2F一般開架へ移動します

『舟を編む』

三浦しをん / 光文社(2011)



一度は書店で目にしたことのある人も多いのではないのでしょうか。本屋大賞第1位の作品です。つまり、「本屋さんが一番売りたい本 No. 1」ということです。

内容は、辞書をつくり、言葉を編み上げていく、そんな人達の物語です。変人として扱われている主人公とともに、言葉についてもう少し掘り下げて考えてみませんか。

本館：1Fフロア /913.6/Mi67f/2012

*夏休み後は2F一般開架へ移動します

『戦略的思考とは何か : エール大学式「ゲーム理論」の発想法』

アビナッシュ・デイクシット, バリー・ネルバフ/ TBS ブリタニカ (1991)



本館 : 1 Fフロア

/336.1/D79s/2011

*夏休み後は3F 一般開架へ移動します

本章を書いた方は二人の有名なアメリカ学者です。戦略的思考は実際の物事を解決するために大きな所に立つと思います。また、これは経営戦略の前提科目なのではないかと思います。

統計上では一日に一人が数万回決めるといことです。それでは、どうすればいいかやそうやった方がいいかなど、いわゆる決断力をアップする必要があると思います。それに、問題を解決する時重要であればあるほど戦略的な思考が大事なのではないかと思います。

ある有名な方が言いました。

「世界には本当に大きい、やらなければならないことも多い」

では、チャレンジしましょう。

『グロービス MBA ビジネス・ライティング』

グロービス経営大学院 / ダイヤモンド社 (2012)



本館 : 1 Fフロア

/336.5/G95g/2012

*夏休み後は3F 一般開架へ移動します

人にはライティングが大切なスキルだろうか。確か、小中学校の時代には作文を書き、高校の時代には小論文を書き、大学の時代にはレポートや論文などを書きます。また、社会人になり、仕事で多少にビジネス・ライティングを使うわけです。文章の通りでは人の能力が相当分かります。そのために仕事や事業などに影響を与えるのではないかと思います。

本章ではビジネス・ライティングの方法が詳細に書かれています。本を読みながら実際の文章にチャレンジすれば必ず熟練するようになると思います。

『砂：文明と自然』

マイケル・ウェランド著 /築地書館(2011)



砂は石と同じくどこにでもあり、関心を持つ人は多くないだろう。そんなものが何の役に立つのかと。しかしながら、砂は高度な分析機器等を使わなくとも様々なことを私たちに語ってくれる。風や波などにより形成される砂の模様は古環境を雄弁に語り、砂粒は砂粒に成るまでの経験・歴史を語ってくれる。本書は砂が人間にとっていかに身近で重要であるか様々な方面から書かれており、砂なんて…と嘲笑っている人には是非読んで頂きたい一冊である。

本館：1Fフロア
/458.7/W57s/2011
*夏休み後は3F一般開架へ移動
します

『原発危機と「東大話法」：傍観者の論理・欺瞞の言語』

安富歩著. 明石書店(2012)

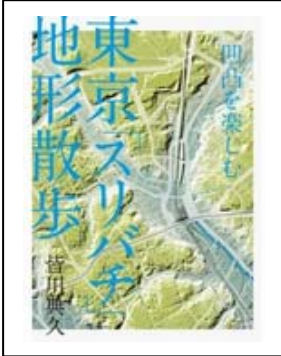


自分は著者をTwitterで知り、その話す内容や言葉選びに惹かれていた。著者の眩きでたびたび出てくる“東大説法”という単語が気に入る、その内容を調べてみた。すると、“偉そう”な人達の話で、自分がたびたび感じる何かの的確に示されていた。本書を是非偉そうな人に成りたい！という方に読んで頂きたい。

本館：1Fフロア
/543.5/Y66g/2012
*夏休み後は3F一般開架へ移動
します

『東京「スリバチ」地形散歩：凹凸を楽しむ』

皆川典久 / 洋泉社(2012)



東京を利用してれば、多くの起伏によって街が出来ていることが分かると思う。この本では、そういった複雑な地形がどのように生まれたのか、どのように利用されているのかについてまとめられている。
この本を読んでもともとこれまで訪れていた街の見方ががらりと変わるかもしれない。

本館：1Fフロア /454.9/Mi36t/2012

*夏休み後は3F一般開架へ移動します

『復刻デザイン・サーヴェイ：「建築文化」誌再録』

明治大学神代研究室, 法政大学宮脇ゼミナール / 彰国社(2012)



この本は特徴的な集落や地域を選び、実地調査や分析を通して空間デザインの意味や仕組みについてグラフィカルにまとめたものである。

限界集落となり、次々と姿を消していく村での暮らし方について再考し、現代の住み方について考え改める機会ができればと思う。

本館：1Fフロア /521.8/Me25f/2012

*夏休み後は3F一般開架へ移動します

『いのちを纏う：色・織・きもの思想』

志村ふくみ、鶴見和子 / 藤原書店(2006)



どこの国の民族衣裳もその国の人を輝かせる。魂の衣、それが民族衣裳である。私たちの祖先が、祖母や母が遺したきもの、その生涯はつつましく、日本の美をおのずとそなえていた。衣、食、住、すべてに思い起こせばなつかしい香りがある。もう一度見直したい。これから生きてゆく若い人々に伝えたい。心のかぎり伝えたい。日本を見失わないで、と。(本文より一部抜粋)

染色家で人間国宝の志村ふくみさんと社会学者である鶴見和子さんという、異なる分野の同士の対談です。衣、食、住のほとんどが洋風である現代において、いま一度、日本の文化や感性、思想について考える契機になればと思います。

本館：1Fフロア
/753/Sh56i/2009

*夏休み後は2F一般開架へ移動します

『右利きのヘビ仮説：追うヘビ、逃げるカタツムリの右と左の共進化』

細将貴 / 東海大学出版会(2012) (フィールドの生物学 ; 6)



進化生物学において興味深いテーマのひとつである生物の左右性についての研究の過程が、著者の体験とともに綴られています。大学院生活やフィールドワークの様子などが書かれた自叙伝のような本書は、研究者を目指す方には是非おすすめします。また、専門的な内容についてはコラムとして別枠に書かれてあるため、誰でもわかりやすく楽しく読めると思います。

本館：1Fフロア /468.4/H93m/2012

*夏休み後は2F一般開架へ移動します

『宇宙船地球号操縦マニュアル』

バックミンスター・フラウー ちくま学芸文庫(2000.)



小説かと思いきや、宇宙について面白く書かれた専門書のような実用書。ぜひ、一読を。

本館：1 Fフロア

/504/F86u/2011

*夏休み後は 3F 一般開架へ移動します

『宇宙で暮らす道具学』

松村秀一, 松本信二監修/ 雲母書房(2009)



文字通り宇宙で暮らすためのエッセンスがたくさん書かれていますが、逆にこの技術で地球上の生活が便利になるような発想を持って読んでいただきたい本です。

本館：1 Fフロア

/538.9/U25u/2009

*夏休み後は 3F 一般開架へ移動します

◆選書者より

今回の選書ツアーの参加にあたってコンセプトとしたもの

- ・キャッチーなタイトルを批判的に読む。書いてあることに対して批判的に自分の意見を持ってほしい
- ・SF 小説を通して夢なき時代に想像力を持ってほしい
- ・古来より親しまれてきた星座やそれにまつわる物語を通じて、自分なりの生き方に応用してほしい。